

Mission: Engineering for Sustainable Growth of the Global Community

Vision: Global Leading Engineering Partner

Values: Integrity, Creativity, Diversity, Learning, Team



2018年3月期

通期業績見込の修正について

2018年2月9日

東洋エンジニアリング株式会社

1. 通期業績見込の修正
2. 米国エチレンプロジェクトでの収支悪化
3. 米国エチレン以外のプロジェクト収支
4. 受注動向
5. 収支改善に向けて

1. 通期業績見込の修正

(単位：億円)

	通期見込		差異 (b)-(a)	3Q実績
	2017/5/19 (a)	2018/2/7 (b)		
売上高	3,700	3,500	△200	2,633
売上総利益	275	30	△245	△74
売上総利益率	7.4%	0.9%	△6.5%	△2.8%
営業利益	65	△180	△245	△230
経常利益	50	△160	△210	△209
当期利益	20	△180	△200	△237

◆ 配当予定：無配（期初見込み 期末配当15円予定）

2. 米国エチレンプロジェクトでの収支悪化



◆ 収支悪化額

- 第3四半期計上コスト増：▲266億円

◆ 収支悪化理由

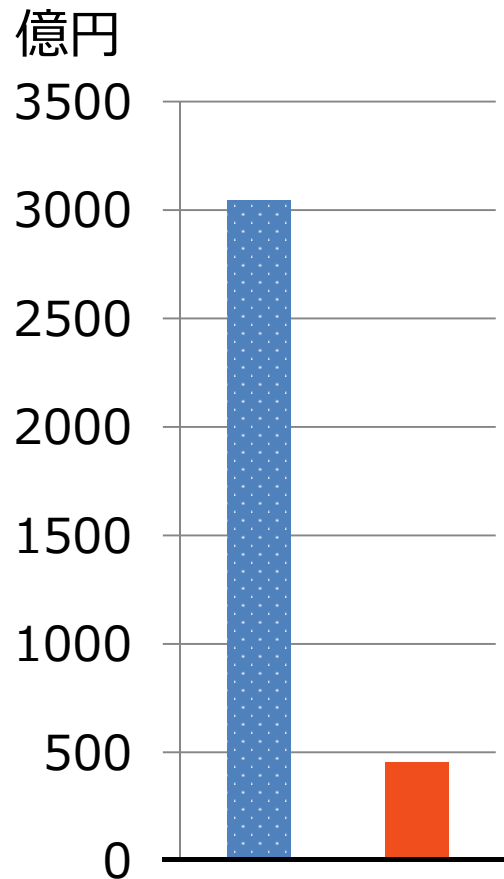
- 納期の見直し（2018年度上期から同下期へ）と現時点までの工事進捗実績を踏まえ、間接費・工事体制及び工事要員の生産性等を見直した事による

◆ 更なる収支悪化回避・収支改善への対策

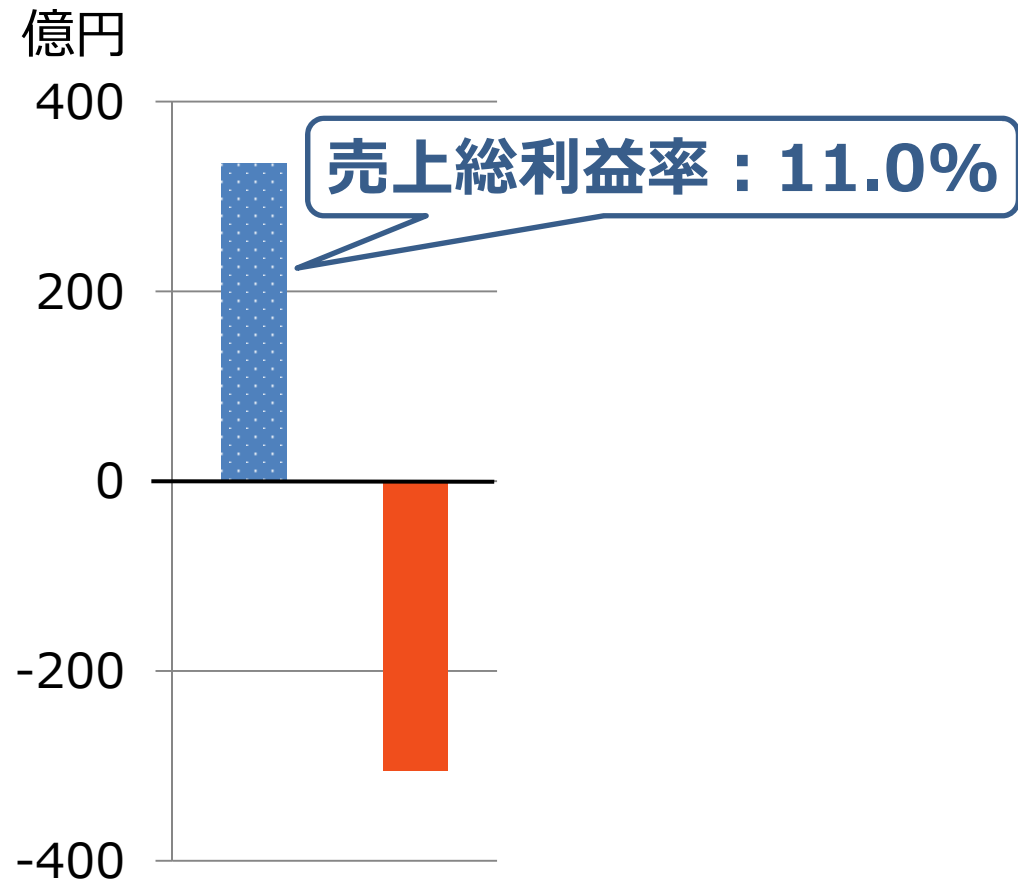
- TOYO及びCB&Iの工事管理体制見直しによる生産性改善
- 費用負担等に関し、工事会社等との協議を継続

3. 米国エチレン以外のプロジェクト収支

売上高



売上総利益



■ 米国エチレン以外のプロジェクト
■ 米国エチレンプロジェクト

4. 受注動向



◆ 3Q累計受注実績：1,438億円

既受注案件

インドネシアガス処理、インドネシアポリエチレン、タイ発電、
国内エチレン能増、国内メガソーラー など

◆ 通期受注：2,500億円達成の見込

見込案件

インド肥料、インドLNG受入基地、
国内メガソーラー、バイオマス発電 など

5. 収支改善に向けて

- ◆ **インフラビジネスの強化・拡大**
 - 受注拡大と人的リソースのシフト
 - O&Mへの参入、事業参画

- ◆ **プラントビジネスの再構築（選択と集中）**
 - リスクを限定すべく中規模案件に注力
 - 知見・経験・拠点が活かせる商品・地域に特化

- ◆ **固定費・販管費・プロジェクト経費の削減**



東洋エンジニアリング株式会社

URL <http://www.toyo-eng.com>

【お問い合わせ】

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-8-1

広報・IR部長 飯田 渉

電話 047-454-1681

E-mail ir@toyo-eng.com

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断にもとづき作成しております。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知おきください。